

学年・教科	第1学年	G・S	科	担当者 長谷川 優人・六沢 千淑
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。			
指導計画		学習内容		
(1) Get Ready (2) Program0 (3) Program1 友だちを作ろう (4) Word Web1 (5) Program2 1-Bの生徒たち (6) Word Web2 (7) Program3 タレントショーを開こう (8) Our Project1 あなたの知らない私 (9) PowerUp1 ハンバーガーショップへ行こう	1 学 期	(1)小学校の復習 (2)アルファベット、つづり、発音、辞書の使い方 (3)be動詞 (is, am, are) (4)数字 (5)一般動詞、when (6)曜日と天気の違い (7)助動詞 can、what (8)自分のことについてのスピーチ (9)ハンバーガーショップでのやりとり		
(1)Program4 Let's Enjoy Japanese Culture. (2)PowerUp2 持ち主をたずねよう (3)Program5 Junior Safety Patrol (4)Word Web3 (5)Program6 The Way To School (6)PowerUp3 道案内をしよう① (駅ビル) (7)PowerUp4 店内放送を聞こう (8)Word Web4 (9)Program7 Research on Australia (10)Word Web5 (11)Our Project2 この人を知っていますか (12)PowerUp5 インタビューを聞こう	2 学 期	(1)this, that、代名詞 (he, she, it)、who (2)whose を使ったやりとり (3)三単現の s, does (4)季節・月の名前 (5)代名詞、why, because (6)道案内のやりとり (7)お店のアナウンスを聞き取る (8)順番・日付の言い方 (9)There is[are] ~, how (10)疑問詞のまとめ (11)紹介したい人についてのスピーチ (12)インタビューを聞き取る		
(1)Program8 The Year-End Events (2)Program9 A Trip to Finland (3)Program10 Grandma Baba's Warming Ideas!	3 学 期	(1)現在進行形 (2)一般動詞の過去形 (3)be動詞の過去形、過去進行形		
観点別評価の観点と主な方法について				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
内容	知識	単語や文法などを理解している。	・今までに習った内容を活用しながら、その場に応じた適切な表現を使って話したり、書いたりする。	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
	技能	単語や文法などを使うことができる。	・まとまりのある内容を聞いたり読んだりして必要な情報を捉える。	・見通しを立てたり振り返ったりしながら、学習を進めている。
評価方法	▶授業内ワークシート ▶小テスト ▶定期テスト ▶パフォーマンステスト など		▶自己評価 ▶他者評価 ▶パフォーマンステスト ▶授業内の取り組み状況 など	
学習のアドバイス ①授業に集中しよう！…授業に集中して取り組みましょう。そのための健康な体づくりも忘れずに。 ②正しい発音で、声に出して読もう！…出した声が、自分の耳に入ることです。聴く力も高められます。 ③何度も書こう！…「英語を見ながら英語を書く」時間と「日本語を見て英語を書く」時間を分けて、少しでもテストに近い状態を家庭学習の中でつくるのが大切です。 ④1つの問題集を繰り返し使おう！…たくさんの参考書や問題集に取り組むのではなく、1つのものを何度も繰り返し使うことで力は充分つけられます。直接書き込むのではなく、ノートを活用して、1年で4～5回取り組めると良いです。				
使用教材 ・Sunshine English Course1 ・英語のパートナー (正進社) ・サマースクール (明治図書) ・英語のパーフェクトノート ・New Active Phonics (正進社)				